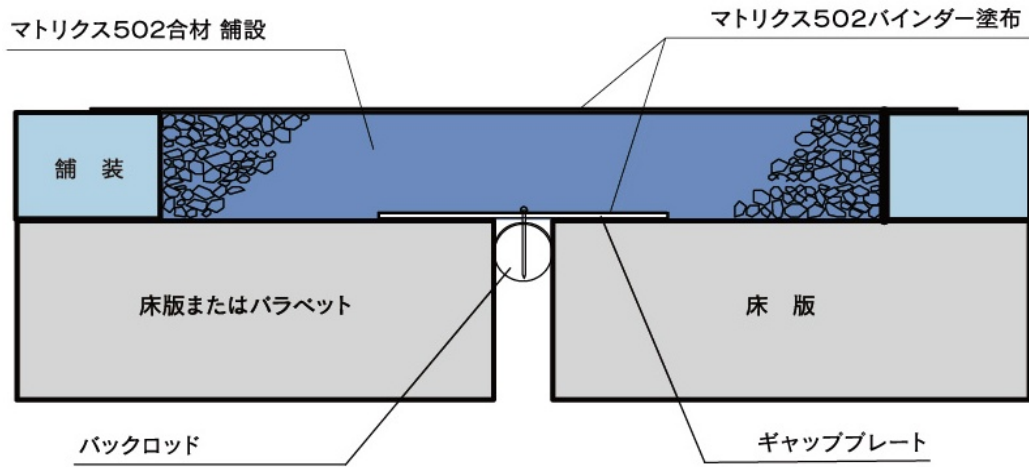


## 技術概要（様式）

技術分類	安全 防災 環境 コスト ICT <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">品質</span> <span style="color: red;">（該当する分類に○を付けてください）</span>								
技術名称	MMジョイント	担当部署	工務営業本部 技術営業部						
NETIS登録番号	Q S - 0 9 0 0 1 9 - A	担当者	松森 保司						
社名等	西日本高速道路メンテナンス九州株式会社	電話番号	092-716-3981						
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>橋梁の床版や橋台などのジョイント部に生じる段差は、走行車両の乗り心地に影響するだけでなく、振動や騒音の発生原因にもなる。埋設ジョイントを使用すればそうした問題は解消できるが、従来の埋設ジョイントでは耐久性に課題があったため、これまで多くの取組みがなされてきたが、夏季における流動わだちあるいは冬季におけるリフレクションクラックなどに対応できる材料がなかったことから、本格的な普及には至っていなかった。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>マトリクス502バインダー（米国・クラフコ社製）と、骨材（国産）を加熱攪拌したマトリクス502合材および、ギャッププレート（支持鋼板）などから構成されている舗装内厚型の埋設ジョイントである。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>MMジョイントの特長は次のとおりである。          マトリクス502バインダーは、付着性伸縮性が非常に優れており、ジョイント部の防水性能が高い。          構造が単純で施工時間が短くなる。          高温から低温まで幅広い温度帯で良好な伸縮性能を発揮し、耐久性に優れている。          橋梁全体の耐久性の向上につながり、LCCの低減が図れる。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>MMジョイントの適用範囲は次のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・許容伸縮量：40mm以下</li> <li>・遊間量       ：75mm以下</li> <li>・施工幅       ：標準値500mm(400～600mm)</li> <li>・施工厚さ     ：標準値 75mm( 50～150mm)</li> <li>・対象工事     ：新設工事、取替工事</li> </ul> <p>5. 活用実績</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">国・自治体</td> <td style="text-align: right;">4,493m</td> </tr> <tr> <td>高速道路</td> <td style="text-align: right;">5,976m</td> </tr> <tr> <td>民間</td> <td style="text-align: right;">0m</td> </tr> </table>			国・自治体	4,493m	高速道路	5,976m	民間	0m
国・自治体	4,493m								
高速道路	5,976m								
民間	0m								

## 6. 写真・図・表



### 施工例

一般道



浦久保橋

高速自動車道



長崎自動車道 撰分高架橋

### 施工手順

・既設ジョイント撤去  
・バックアップ材設置



・バインダー塗布  
・ギャッププレート設置



・合材舗設・転圧・整形  
(3層仕上げ)



・養生  
・交通開放



